

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：2023年 2月 20日

事業所名：わくわくクラブ 千里丘校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	・パーティション等を活用し環境設定を行っている ・もう少し広いと活動しやすい	・引き続き実施していく
	2	職員の配置数は適切である	8	0	・配置数を確認するツールを導入している	・引き続き使用していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・子どもに合わせた配慮を行っている ・視覚的な掲示を積極的に導入している	・引き続きわかりやすい環境設定を目指していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	・毎日必ず掃除、消毒を行っている	・引き続き実施していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・会議やミーティングを通して行っている	・引き続き実施していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・アンケートも実施し定期的に意向を確認出来ている	・引き続き実施していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	・巡回指導を受け外部からの意見も取り入れている	・第三者評価に関しては今後の検討課題としていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・様々な研修を受ける機会を設けている	・引き続き職員の資質向上を図るため定期的の実施していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・丁寧にヒアリングを重ね計画作成をしている	・引き続き継続して行う
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	・ツールを教室内に掲示している	・引き続き活用していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・全スタッフが計画書を閲覧出来る環境	・引き続き実施していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・チームで話し合い立案出来ている	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・姉妹校と情報共有を行いマンネリ化を防止	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・毎日定例で実施	・引き続き継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・毎日定例で実施 ・記録に残し全員で共有出来るよう工夫	・引き続き継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・必要な支援の見直しを定期的実施している	・引き続き行っていく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・地域の子育て支援センターや相談支援事業所等と連携を行っている	・引き続き継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	4	・現状受け入れなし	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	4	・現状受け入れなし	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・必要に応じて行っている	・引き続き継続し連携を深めていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・必要に応じて行っている	・引き続き継続し連携を深めていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	・将来的には挑戦してみたい	・コロナ収束後は交流の機会を検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		・どのスタッフも参加していけるよう工夫する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・日々保護者とのコミュニケーションを丁寧に取るよう心がけている	・引き続き継続し、共通理解を深めていけるよう努める
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4	・普段のやりとりの中で出来ることで対応中	・プログラム化や定期的実施も今後視野に入れ検討していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・振り返りの時に時間をとってヒアリングしている	・引き続き実施していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4	・コロナ禍のため自粛中	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	・HUGシステムやメールにて伝えている ・イベントカレンダーの発行と掲示	・引き続き継続して行う
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・ゆっくり時間を取って対応するよう工夫	・引き続きより意思疎通出来るよう努める
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	・コロナ禍のため自粛中	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	・保護者への周知があまり出来ていない	・周知出来る方法を検討し実行していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	・保護者も含めた訓練を実施していきたい	・どのような方法なら可能か探っていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	・保護者から聞き取りスタッフへ共有	・指示書がある場合には共有してもらいその内容に沿って対応していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	・事例集は作っていない	・まずは日々のヒヤリハットをしっかりと記録し残していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・毎年必ず実施している	・引き続き継続して行う
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。